前面パネルを開けたとき

吹出口

フラップ（上下風向調節羽根）
▶14ページ

光触媒空清フィルター
エアフィルターの裏側に取り付けます。▶22～24ページ

エアフィルター
▶22～24ページ

ルーバー（左右風向調節羽根）
吹出口内にあります。
▶14ページ

吹出口

前面パネル

吸込口

室外ユニット

各部の名前と働き

表示部

運転状態を表示します。
（図は説明のため全部表示しています。）
表示部の保護シートは使用時にはがしてください。

12ページ

自動運転ボタン

室内・屋外温度に応じて、自動で最適な運転モードを選んで運転します。

13ページ

風量ボタン

風量を調節します。

12ページ

運転切換ボタン

運転のモードを選びます。
（自動・ドライ・冷房・暖房・送風）

17ページ

快眠ボタン

室内温度をコントロールして快い眠りとさわやかな目覚めをサポートします。

16ページ

切タイマーボタン

運転を停止するまでの時間を設定します。

19ページ

パワーセレクト入ボタン

運転時の電流を制限して、電力消費を抑えます。

19ページ

パワーセレクト切ボタン

パワーセレクトを取り消します。

送信部

信号を送ります。

12ページ

運転／停止ボタン

押すと運転。もう一度押すと停止します。

13ページ

温度調節ボタン

温度を調節します。

18ページ

パワフルボタン

冷房・暖房の風量・能力をパワーアップして運転します。

14ページ

風向ボタン

上下風向を調節します。

16ページ

入タイマーボタン

運転を開始するまでの時間を設定します。

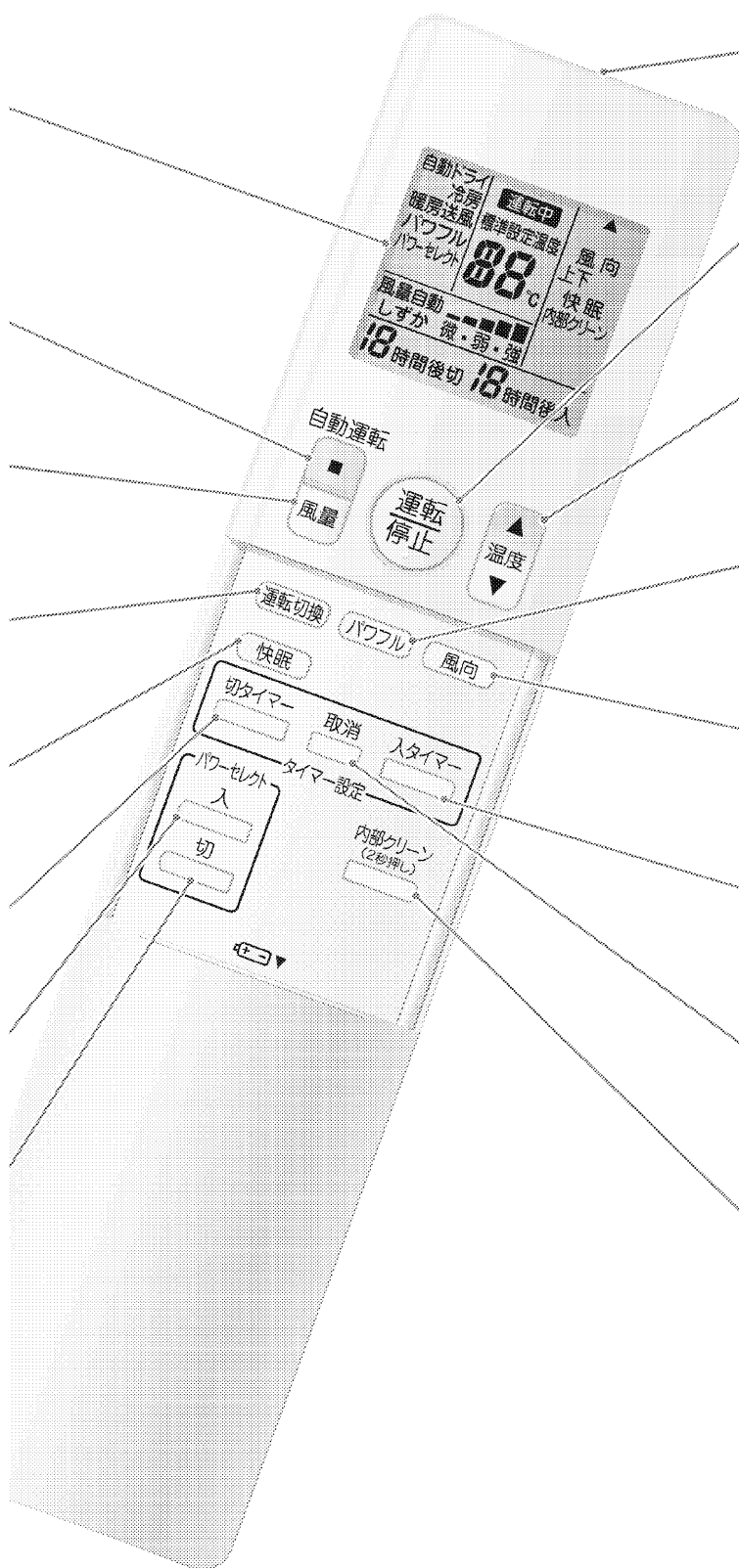
16ページ

タイマー取消ボタン

タイマー予約を取り消します。

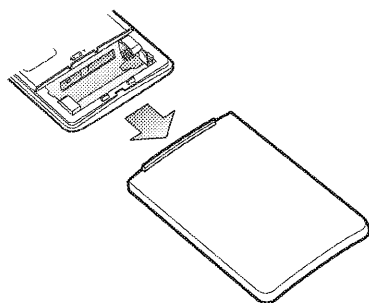
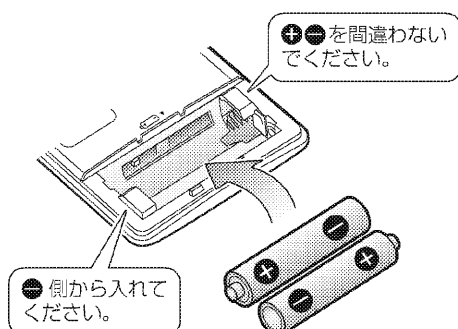
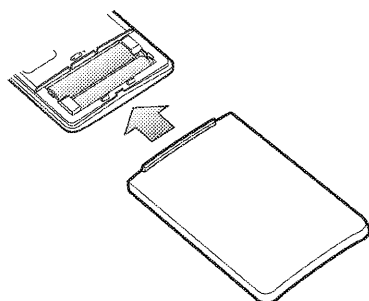
20・21ページ

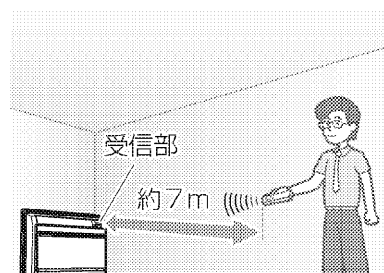
内部クリーンボタン

室内ユニット内部を乾燥させて、カビやニオイを発生しにくくします。

運転前の準備

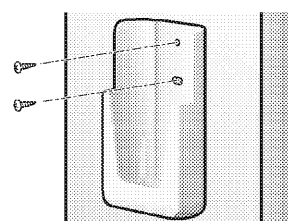
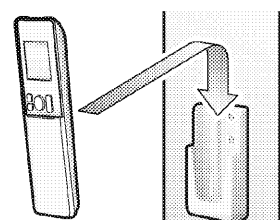
リモコン

電池を入れる

1 ふたを矢印の方向へスライドさせて、取り外す。

2 単4形アルカリ乾電池を2本入れる。

3 ふたを矢印の方向へスライドさせて、閉める。

使いかた

- リモコンの送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。カーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しないことがあります。
- 受信できる距離は約7mです。
（角度、方向によって受信距離は異なります。）

壁などに取り付ける場合

1 信号が受信できる場所を選ぶ。

2 リモコンホルダーを付属のネジで壁や柱などに取り付ける。

3 リモコンをリモコンホルダーに入れる。

電池について

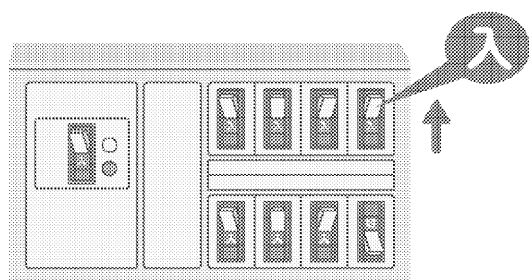
- 交換の目安は約１年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、２本同時に新しい単４形アルカリ乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は、最初にご使用いただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。

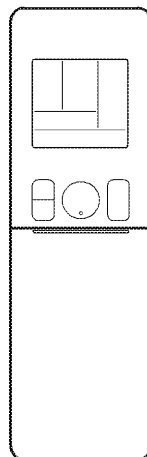
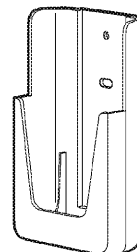
室内ユニット

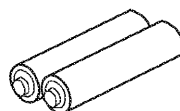
フィルターを取り付ける

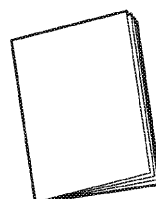
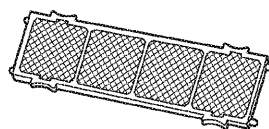
光触媒空清フィルターを取り付ける。

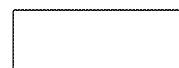
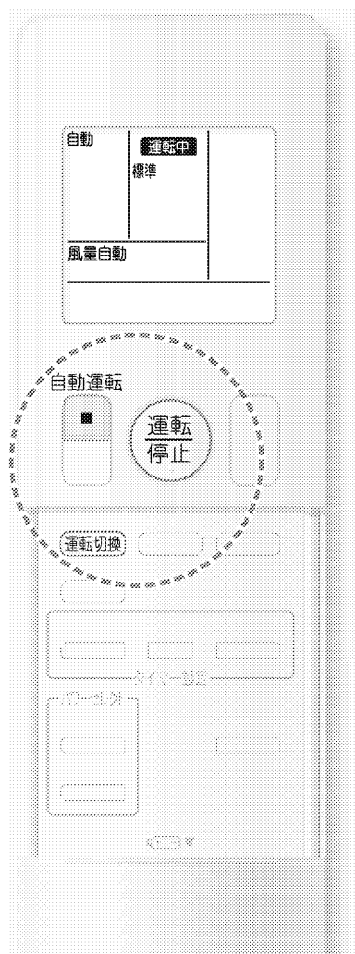
24ページ

ブレーカーを入れる

●ブレーカーを入れると、各部の動作チェックを行います。

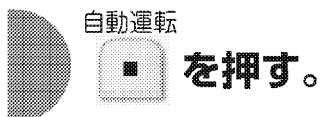
付属品

リモコン

リモコンホルダー

リモコンホルダー取付ネジ（黒色・2本）

取扱説明書

単4形アルカリ乾電池（2本）

光触媒空清フィルター（2枚）

保証書

運転モードを設定する

(室内ユニット本体表示部)

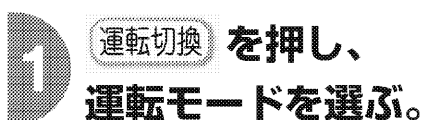
自動運転

ワンタッチ操作で室内・屋外温度に応じた自動運転を行います。

自動運転
を押す。

●自動運転を開始します。

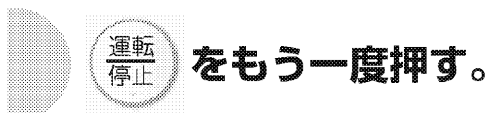
運転モード選択

自分に合ったお好みの運転を選べます。

1 運転切換 **を押し、運転モードを選ぶ。**

●押すごとに下記のように運転モードが切り換わります。

2 運転停止 **を押す。**

停止したいとき

をもう一度押す。

●運転ランプが消灯します。

自動運転について

●自動運転は、運転開始時の室内・屋外温度に応じて、自動で運転モード(ドライ・冷房・暖房のいずれか)、設定温度を選びます。
●設定温度と運転モードは運転中定期的に見直します。
お好みに合わないときは、温度ボタンで微調整していただくか、運転モードを変えてください。

暖房運転について

●屋外温度が下がるにつれ暖房能力が低下します。暖まり不足の場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。
●暖房運転中、室外ユニットに霜が付くと能力が低下するため、霜を取り除く運転(除霜運転)をします。
●除霜運転中、室内ユニットからは温風が出ません。

ドライ運転について

●ドライ運転は、弱めの冷房運転と停止を適切に制御して湿気を取ります。
●リモコン設定と除湿効果、室内温度は次のような関係があります。

リモコン設定
−2℃・標準・+2℃
除湿効果
高い ←→ 低い
室内温度
下がる ←→ ほぼ同じ

●室内温度より屋外温度が低い場合、除湿効果が低くなります。